学校番号	1205

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	教養基礎Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○日本語指導が必要な生徒を対象とした科目であり、日本語力の向上を図る。
○２年次に学習した教養基礎Ａをさらに発展させ、各教科・科目の発展的分野及び進学や就職に向けたＳＰＩなどの一般常識や教養を身につける。さらに敬語をはじめとする日本社会でのマナーや常識を学び身につけることにより、面接などに対応できる力を養う。
○ほとんどの生徒が日本以外にルーツがあり文化的背景を異にしている。そのため多文化共生の考え方を尊重し、多文化共生社会を実現する力を養う。
○タブレットＰＣを活用し、課題を自己で調べ、発表し、また他者の発表を傾聴できるコミュニケーションスキルの向上を図る。また日本語会話力の向上を図る。
○生徒の実態・進路に応じて、適宜学習内容を設定する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
高等教育機関の授業が理解できる基礎的学力を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
高等教育機関の授業で学んだことを進路や社会生活で活用できる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
自己の進路希望に応じた知識・教養を積極的に学び身につける。日本社会で社会人として生きていく上で必要なマナーや常識を学び、実践力・応用力を身につける。また日本語力も積極的に学び向上させる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各教科（国語・数学・英語・理科・社会）に関する基礎的学力を身に付けている。 授業及び学校生活の中で、必要に応じて敬語を使うなど、社会人に必要なマナーを理解している。 一般常識、タブレットＰＣの基本的な操作方法を身につけている。	学習したことを、進路選択及び日本社会での生活に、どのように活用できるか考えることができる。 調べ学習等で、意見をまとめて発表することができる。また正しい日本語で発表することができる。	知識や教養を身につけること及び問題や課題を解決することに意欲を持ち、実践に結びつけることができる。 プリントやメモをしっかりとることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎編	・国語、社会、数学、理科、英語の発展的な問題 ・敬語 ・電話応対 ・ビジネスメール等	a:各教科(国語・数学・英語・理科・社会)に関する基礎的学力を身に付けている。社会人に必要なマナーを理解している。タブレットPCの基本的な操作方法を身につけている。 b:学習したことを、進路選択及び日本社会での生活に、どのように活用できるか考えることができる。調べ学習等で、意見をまとめて発表することができる。 c:知識や教養を身につけること及び問題や課題を解決することに意欲を持ち、実践に結びつけることができる。プリントやメモをしっかりとることができる。	定期考査　確認テスト	定期考査　確認テスト　日本語会話力	授業態度　提出物(プリント等)　制作物
2学期	応用編	・国語、社会、数学、理科、英語の発展的な問題 ・会食マナー ・冠婚葬祭マナー・ 席次 ・SPI(言語分野・非言語分野)				
3学期	展開編	・国語、社会、数学、理科、英語の発展的な問題 ・異文化コミュニケーション ・様々な申請書(婚姻届・出生届・離婚届・死亡届・永住許可申請書等) ・外国人の権利と在留管理制度等				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度